

ほくほく通信

vol.13



ご挨拶

皆様、いつも川崎市北部地域療育センターの運営にご理解とご協力を賜り本当にありがとうございます。

当センターの所長をつとめます武井でございます。

昨今のコロナ禍の状況のもと、皆様におかれまして

は大きな不安の中で過ごされていることと存じます。

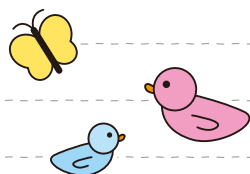
センターとしても感染拡大防止に最大限の注意を払っているところではございますが、御利用の皆様にも様々なご協力をいただき感謝申し上げます。

私たち北部地域療育センターは今年度も『子どもたちにとって愛される場所であること』『ご家族にとって安心につながる場所であること』『私たち職員にとって誇れる職場であること』を掲げ、子どもを中心において、センターの全職種の経験と知恵を集結する集学的療育の実現にむけて事業を推進してまいります。

困難な状況だからこそ、子どもたちが夢と希望をもって育つことができるように、ご家族、地域の関係機関の皆様と力を合わせ、集学的療育を推進していきたいと考えます。

今後ともご指導とご協力をいただきますようお願い

申し上げますご挨拶とさせていただきます。



川崎市北部地域療育センター 部署紹介

通園部

通園では、基本的な生活習慣の確立、年齢や発達段階に合わせた生活経験、社会性の向上、コミュニケーションスキルの向上など、お子さん一人一人の発達上のニーズに合わせ、児童発達支援計画を作成し発達支援を行っています。クラス編成は、お子さんの年齢や発達状況、行動の様子を確認したうえで、複数日の通園（親子通園と単独通園）、幼稚園や保育園との併行通園（1日通園）、短時間グループ等、お子さんにあったクラスの提案をしています。楽しい遊びの中でお子さんらしく成長されるよう日々関わらせていただいております。



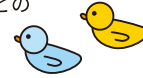
地域支援部

ソーシャルワーカーはお子様の育ちの心配事についての相談を受け付ける「相談窓口」です。生活のこと、制度のこと、どこに聞いたらいいか迷ったらソーシャルワーカーへご相談下さい。お子様が安心して遊べる場所として第1、3土曜日には「ほくほく広場」・第2、4金曜日には「大きな樹」（於片平こども文化センター地域訓練室）を開催しています。ぜひ遊びに来てください。



心理部

お子さんへの心理評価や保護者の方からのお話を伺いながら、今のお子さんの様子を確認し、保護者の方と一緒にお子さんを理解しながら、日々の関わりについて具体的な手立てを見つけていきます。必要に応じて、お子さんへの個別指導や保護者の方との個別面談、所属機関との連携などの支援を行います。



リハビリテーション部

作業療法 (OT) は遊びながら自分の体・手先の使い方を練習したり、身の回りの動作の練習をしたりします。また、食べ方や偏食の相談も受けています。理学療法 (PT) では、日常生活に必要な運動機能の獲得・維持・改善を図るとともに、補装具や車いすなどの作製に関わり社会参加の支援を行っています。言語聴覚士 (ST) は、ことば・コミュニケーション・きこえのご相談をお受けし、アドバイスや必要に応じた支援を行います。



総務部

センターの自動ドアに入って頂くと、正面でご来所されたみなさまをお迎えする受付や通所される園児さんの給食献立を作る栄養士、センターを気持ちよくご利用いただくための設備の営繕など、いつも療育センターを訪れてくださるみなさまと近いところでお会いしています。どうぞご来所された際は、お気軽にお声掛けください。

診療部

診療所は、小児科・小児神経科・児童精神科・リハビリ科・耳鼻科があります。医師の診療では、発達の課題による言葉や行動上の問題があるお子さんに対し、医療・専門分野の相談をお受けします。各専門職と連携しながらお子さんの発達の支援についてアドバイスします。お気軽にご相談ください。

